



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/police/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

警察官B・警察事務募集！その力を、今こそひとつに。
～これからの熊本を背負い、県民の安全・安心を担う人材を募集しています！～
私たちと一緒に仕事をしてみませんか！

試験区分	警察官B (男性・女性)	警察事務			
募集人員	6月中旬公示	6月中旬公示			
願書配布	6月中旬	6月中旬			
受付期間	8月3日(金)～8月24日(金) ※インターネットによる受付も同じ				
第1次試験	試験日等	10月14日(日)	9月23日(日)		
	試験内容	教養・作文	教養・適性試験		
	合格発表	10月下旬	10月上旬		
第2次試験	試験日	適性・体力	11月10日(土) 11月11日(日)	適性・作文	10月20日(土)
		面接	11月17日(土) ～11月21日(水)	面接	10月27日(土) ～10月29日(月)
	合格発表	11月下旬	11月上旬		
受験資格	18～27歳の方 (平成3年4月2日～ 平成13年4月1日生)	18～21歳の方 (平成9年4月2日～ 平成13年4月1日生)			
	学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業または平成31年3月末までに卒業見込みの方(人事委員会が同等の資格があると認める方を含む)は受験できません。				
問合せ先	熊本県警察本部警務課採用係 ☎096-381-0110 (内線2643) 山都警察署総務係(採用担当) ☎72-0110 (内線211)				

※採用予定数や体力試験の内容については、各警察署、警察本部などの警察施設で配布している試験案内・受験申込書又は熊本県警察ホームページで確認してください。

夏期における山岳遭難の防止 ⚠

夏期(7月～8月)は、家族や職場での気軽な登山、ハイキングなどで山を楽しむ人達が多くなりますが、山岳遭難には十分注意してください。携帯電話のメールで簡単に登山届が提出できます！(熊本県内の山岳のみ)

QRコードから簡単アクセス！→



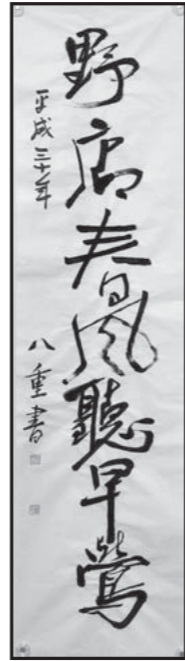
交通安全標語
平成29年度受賞作品

・宿題忘れても 交通安全 忘れるな
・あぶないよ 歩きスマホは 事故のもと

坂本 佑心(御岳小6年)
村山 駿(御岳小4年)

書道

和光教室書道部



佐野 八重さん(川口)作

季節のうた

馬見原醉山会

梅雨晴れ間傘引ききずって子供たち
逆上がりできて跳ねる児風薫る
待ちかねし虫あらわれ酒うまし

やまなみの会「山脈」

曾孫連れ笥掘に來たりけり
菖蒲湯に浸りて世間話など
錯覚の中へ迷ふや麦の秋

真つ青な空に泳げる鯉職名前の文字が誇らしく舞う
テレビでは今日も夏目と流れお山の手暮らしは今から天国
夢の間に九十の坂を越えており茨の道も幾度通りぬ

通潤句会

一つ聞き二つ忘るる茗荷汁
わが齡忘れて今日の田植かな
夏鶯寝返りをうつ嬰の力

清和短歌会

背のびして人生開拓意気込んだ希望の青夢ならずとも
慈雨ありて今朝忙しく畑に立ち黒き土踏み豆の種撒く
吾が部屋の窓辺に並ぶカーネーションニ鉢揃えば嬉し母の日

山都町の人口

[平成30年6月30日現在]

男	7,312人 (△9)
女	7,851人 (△21)
計	15,163人 (△30)
世帯	6,553戸 (△9)

※()は前月比
※最高齢は108歳(女性1人)
※平成30年6月の出生者数 2人
※平成30年6月の死亡者数 28人

編集後記

7月に入り、台風の上陸や記録的な大雨などにより日本各地で被害が出ています。28年の豪雨災害や昨年の九州北部豪雨を思い出し、どうかひどい災害が起こらないようにと祈るばかりです。

さて、7月中旬からは浜町商店街界隈のリレー夜市など楽しいイベントがたくさん開催されます！皆さんぜひお出掛けください！



(坂本)

山の都地域しごとセンター通信 vol.10



著書「豊かさとは何か」などで知られる評論家の暉峻淑子氏をお迎えし、「山都町移住者を囲む会」と題した懇談会が5月28日にしごとセンターにて開催されました。

以前より暉峻氏は著書の中で山都町について触れておられました。特に東日本大震災後に山都町への移住者が増えたことに興味を示され「実際に話を聞いてみたい」ということで今回の懇談会が実現しました。7人の移住者が参加され、山都町に移住するまでの経緯や移住後の生活についてのお話を伺いました。田舎暮らしに憧れていた方、有機農業を学ぶために新規就農された方など、移住理由は様々です。

「田舎にあって街に無いものを探して良いところを再認識することが大切である。」「移住者の話を町の人々が聞くことにより自分たちの町に誇りを持つことができる。」といった意見が交わされていました。